

平成18年9月28日公表

平成18年産水稻の作付面積及び作柄概況（大分県）

（平成18年9月15日現在）

- 作況指数は92、作付面積は前年並み -

9月15日現在における作柄概況調査は、水稻の生育段階に応じて、計測可能な収量構成要素の実測値（穂数やもみ数等）を基に、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測したものです。

このため、今後の気象条件及び病虫害被害の発生（進行）状況により作柄は変動することがあります。

なお、9月17日に九州に上陸した台風第13号による影響は、現段階で把握できる被害について見込んでいます。

【調査結果の概要】

1 作付面積

大分県における平成18年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は2万6,400ha(対前年比100%)で前年産並みとなりました。

2 生育・被害概況

生育は、7月の日照時間が平年に比べ大幅に減少したことから、分けつが抑制され穂数が少なくなりました。

7月下旬以降気象が回復したため、1穂当たりもみ数はやや多くなったものの、穂数が少なかったため1㎡当たり全もみ数は少なくなりました。

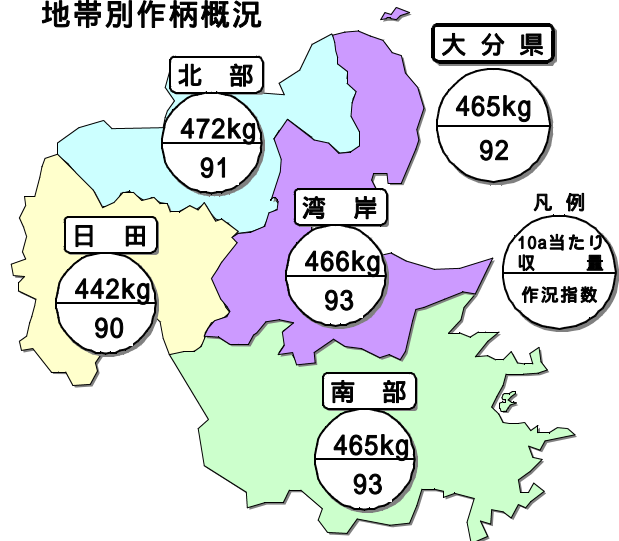
出穂最盛期は平年に比べ1日遅く、前年に比べ2日遅い8月24日となりました。

作柄は出穂後、曇りや雨の日が多かったこと、ないえいかつべん内穎褐変病や紋枯病の発生が多いこと、台風第13

号の強風による倒伏や潮風害（一部地域）等の被害が発生したことにより10a当たり収量は465kgの作況指数92が見込まれます。

地帯別には、台風第13号で倒伏が多く発生した日田や、1穂当たりもみ数が多いため登熟の低下が見込まれる北部で作況指数はそれぞれ90と91になっています。

地帯別作柄概況



区分	作柄表示地帯に包括される市町村
北 部	中津市 豊後高田市 宇佐市
湾 岸	大分市 別府市 杵築市 由布市 国東市 姫島村 日出町
南 部	佐伯市 臼杵市 津久見市 竹田市 豊後大野市
日 田	日田市 九重町 玖珠町

この資料は大分農政事務所ホームページ【<http://www.oita.info.maff.go.jp>】でご覧になれます。
この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の仕様】4Pに掲載しています。
今回は、予想収穫量調査として10月下旬に発表予定です。

【統計表】

1 水稻の作付面積及び作柄概況（9月15日現在）

区 分	作付面積 (青刈り含む)	10a当たり (予想)収量	作況指数	10a当たり 平年収量
	ha	kg		kg
県 平 均	26 400	465	92	503
北 部	7 740	472	91	517
湾 岸	7 920	466	93	500
南 部	7 660	465	93	498
日 田	3 060	442	90	490

青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料などとして用いられるものです。

なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含みます。

作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。

10a当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

統計表は、ラウンドにより一致しない場合があります。

2 生育状況

区 分	出 穂 期					穂数の 多 少	1穂もみ 数の多少	全もみ数 の多少	登 熟 の良否	刈 取 済 面 積 割 合
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較						
				対平年	対前年					
	月 日	月 日	月 日	日 日	日 日					%
県 平 均	7.30	8.24	8.31	1日遅	2日遅	少 ない	やや多い	少 ない	やや不良	5
北 部	7.24	8.26	8.30	並み	並み	少 ない	多 い	少 ない	やや不良	4
湾 岸	7.30	8.27	9. 4	1日遅	2日遅	少 ない	平年並み	少 ない	平年並み	5
南 部	8. 1	8.20	8.30	並み	1日遅	少 ない	やや多い	やや少ない	やや不良	5
日 田	8. 5	8.15	8.22	並み	6日遅	少 ない	多 い	やや少ない	不 良	2

出穂期の「始期」は出穂済みの面積割合が5%、「最盛期」は同50%、「終期」は同95%に達した期日です。

「穂数の多少」は、1㎡当りに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

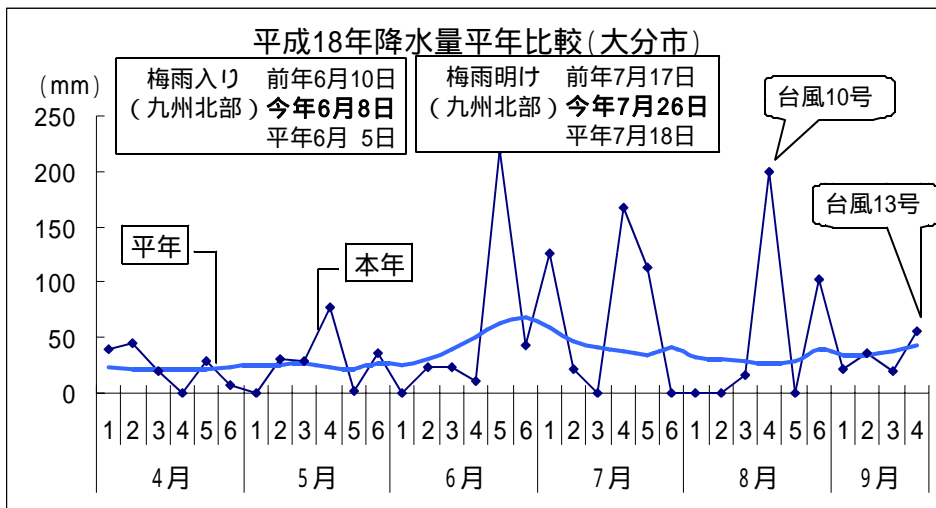
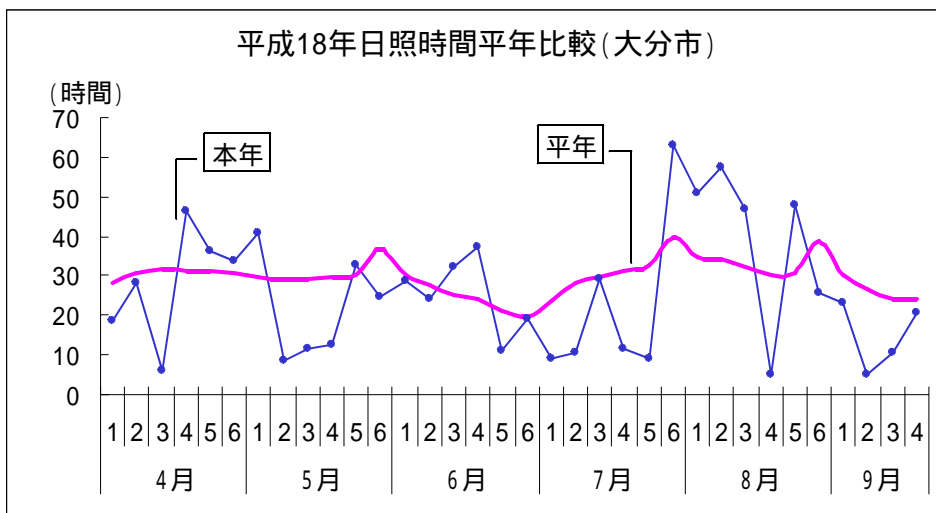
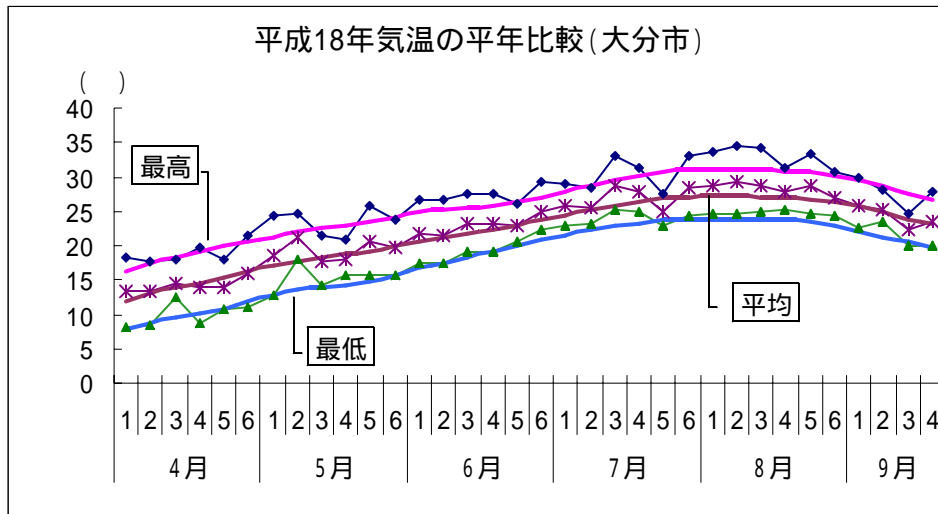
「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上



【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査のうち作付面積調査及び水稻調査に関する作柄概況調査として実施し、水稻の作付面積及び生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査の対象

大分県

3 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 作柄概況調査：9月15日現在

4 調査方法

- (1) 作付面積調査
調査は、標本単位区に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめました。
- (2) 作柄概況調査
調査は、作況標本筆、基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより取りまとめました。

5 調査客対数

- (1) 作付面積調査
標本単位区：840単位区 巡回・見積もり：18市町村
- (2) 作柄概況調査
作況標本筆：185筆 作況基準筆：22筆 巡回・見積もり：18市町村

【利用上の注意】

作柄概況調査（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行っています。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

なお、9月17日に九州に上陸した台風第13号による影響は、現段階で把握できる被害について見込んでいます。

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部
生産流通消費統計課 生産統計第1・2係
TEL 097-532-6196 FAX 097-538-1820

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部
統計企画課 企画係
TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820

10月18日は統計の日 「生かします。あなたにもらった 貴重なデータ」